

保護者評価表

○数字は実数で示す

○「ご意見」については基本的に原文ママで表記

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
		(人)			
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが確保されているか。	25	4	0	・実際に見ていないので（動く活動）何とも言えない ・限られたスペースを工夫してスッキリと整理されていると思う
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか。	26	3	0	・すばらしい先生がそろっている
	③ 事業所の設備等、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされているか。	16	12	0	・よくわかりません
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が分析され、対応できる よう、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作 成されているか。	29	0	0	・子どもの困り感や親の思いを分かりやすく、そしてどう対応していくか要点をまとめて作成して 下さっている
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	29	0	0	・長期休暇にいろいろな行事を行っていただき嬉しいです。 ・夏休み、冬休み等の長期休みに家では行ったことのない場所に遊びに行かせてもらったり、調理 実習があるので助かります。 ・すばらしいと思います ・長期休暇の活動は子供が楽しみながら課題に取り組みめる工夫がされていて良いです ・様々なねらいをもってゲームや制作など活動プログラムを取り組んで下さり感謝しています ・理由を言う、ポジティブな表現を使うなど子どもの苦手な課題ですが、経験を積み重ねて力に なっていると思う ・平日はもちろんですが、長期休暇もお出かけなど新しい体験もさせて頂き、工夫されたプログラ ムにいつも感心しています。ありがとうございます。
	⑥ 障害のない子どもと活動する機会があるか。	21	7	0	・先生方は大変だと思いますが、子ども達には非常に大切な経験だと思います ・どれくらい地域社会と交流されているか分かりません
保護者 への 説明 等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされ たか。	28	1	0	
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発 達の状況や課題について共通理解ができているか。	24	5	0	・普段の活動内容はよく分かるが、自分の子の様子がどうだったのか分かりにくい ・ほぼ毎回「今日はこんな活動をしました。様子はこんな感じてした」と教えて下さるのでいいと 思います。 ・全体ではお便りでよくわかります。個別では日常では時間的に難しいと思います ・相談しやすく、とても分かりやすく説明して下さるので助かります ・迎えに行ったらとき、様子を教えてくださいさったり、連絡ノートに書いてくださっているので、状況 が理解しやすい。こちらからも伝えやすい。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行 われているか。	27	1	1	・活動の中に個別に支援を入れて頂き感謝しています ・すぐに対応して下さり感謝している。どうしていいかわからずこちらの説明がうまくできていな い時も、しっかり丁寧に耳を傾けて下さり的確なアドバイスを分かりやすくしてくれるので支えら れました。先生方の寄り添ってくださる優しさにも救われています。ありがとうございます。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保 護者同士の連携が支援されているか。	10	11	7	・よく知らないです。すみません
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備 するとともに、誠意ある対応をしているか。また、その 対応は迅速で適切であるか。	19	10	0	・まだそういう場面に出くわしていないので分かりません ・苦情を出していないので対応について分かりません
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 がなされているか。	24	4	1	・しっかり配慮して下さっている。子どもには言えないけど先生には伝えておきたい事などが合っ た時も、子どもに対してしっかり配慮して下さっている。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を 子どもや保護者に対して発信しているか。	28	1	0	・毎月活動内容を文章と写真入りで分かりやすく教えていただけるのでありがたい。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか。	25	4	0	・子どもの名前や顔はモザイクなどで注意して下さっている。
非常 時等 の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マ ニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。	27	1	0	
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必 要な訓練が行われているか。	27	2	0	
満足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか。	20	8	0	・本当にありがたいです ・子供に聞いてみると書いたりする勉強ではないので楽しみとの事 ・楽しみにしている。行く前に不安があった時も、帰ったらあづみでの活動について子どもから話 してくれる。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか。	26	1	1	・安心して子供を預けられます。確実に成長していると感じます ・大変満足している ・常にいろんな悩みがあるが、親子ともに支えられている。ありがとうございます。少しずつ子ど もの今までできなかった成長の姿見られるようになったと思う。

※回収29名。一部空欄の項目もあったため、合計29にならない項目がある。

放課後等デイサービス高須あづみ
自己評価結果

職員数が少ないため、個々で評価を実施したのち、2020年2月に合議の上で全体評価を行った。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか。	○			1日の利用児童数が増えた際にはやや懸念がある。場所の使い方、グループ分け等を工夫する。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか。		○		現状の利用者、職員の状況では不足はないが、玄関付近の段差、トイレなどは今後の検討が必要。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。	○			全職員が参画。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者当の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			アンケート実施後、改善案とともに結果を利用者に配布している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか。	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。		○		事業所内では、発達や知能全体を測定する検査は実施していない。視覚認知の能力を測定する検査を必要に応じて実施。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を細やかに設定して支援しているか。	○			平日は室内でのソーシャル・スキル・トレーニングを実施。休日、長期休暇は学習支援、外出活動や調理活動、制作活動を取り入れ、社会体験や生活体験の幅を広げたり、身体の使い方や認知能力へのアプローチなどを行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			毎回必ずミーティングを実施。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○			振り返りを共有し、過不足があればすぐに支援に反映させている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			

	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	/	/	/	該当なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	/	/	/	低学年の児童を対象とした事業所のため、該当なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか。			○	通所している児童の多くが放課後児童クラブを利用している。連携は行っているが、事業所として交流を設定したことはない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	㉘	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			当日の児童の様子、課題について、保護者に積極的に伝えている。保護者からも家庭や学校での様子を聞き取るようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	○			今年度からペアレント・トレーニングとペアレント・プログラムの両方を実施。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			メール、電話、面談等で実施。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			○	ペアレント・トレーニングやペアレント・プログラムでは、トレーニングだけでなく、保護者同士の情報共有や交流を副次的な目的として掲げ周知しているが、浸透していない。チラシなどの作成も検討する。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			活動内容、児童の様子を1か月ごとにおたよりとして配布している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか。	○			個人が特定されない範囲での使用であっても、今後は使用承諾書をもらう。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			・保護者に対しては自宅訪問を行ったり、話した内容を整理した紙を渡したりなどで配慮を行っている。送迎時だけでは十分話ができない場合もあるため、メールでの報告や相談も受けている。 ・児童に対しては、意思表示のための支援ツールを予め作成している。必要に応じて個別のツールも作成している。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	児童の安全確保等の面から、懸念があるため実施していない。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。		○		玄関に掲示を行ったり、契約時にも説明を行ったりしているが、アンケート結果から鑑みるに、浸透していない状況。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			長期休みを利用し、年2回、夏休み、春休みで実施。火災、地震、不審者対応などを適宜実施している。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか。	○				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	/	/	/		現状では身体拘束が必要な該当者なし。事前に想定できる場合は計画に反映させ、保護者の承諾を得る。
	④⑫	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○				医師の指示書の提出を依頼している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○				積極的にヒヤリハットを作成している。職員がいつでも閲覧できるようにしている。